



東 北 方 面

鬼首村の道路改修

宮城縣玉造郡鬼首村では、天恵の温泉や山林を開發するには是非道路の改修をせねばならぬと豫々地元の人達の議に上つてゐたが、種々の事情で今日迄具體化せずそのままになつて居つたがいよいよ客年十二月下旬から同村内主要幹線道路を村境から全線に亘つて改修することとなり毎日二百餘

地 方 通 信

名の土工夫が出役して、工事を急いで居るから近々自動車馬車等の通行も自由となると云ふので、村民は非常に喜んでゐる。

東 海 方 面

補助道路の新設

名古屋市内殊に舊市内にては大幹線道路の効用を充分にさせる補助道路が殆んど皆無なので今回經費參百八拾餘萬圓を投じて大正十六年度から向ふ五箇年繼續事業とし

て、主として舊市内に二十數線此延長貳千餘間幅員四間乃至八間の補助道路を新設しやうと云ふので名古屋市道路課で目下其の具體的計畫を進めて居る。

豊橋市の道路新設擴張と改修

豊橋市大正十六年度豫算中歳出臨時部の首位を占める市道路の改修開鑿に就いては目下市土木課に於て各方面の調査を進めて居るが一方市内各所の關係地主及び住民中からは用地寄附を條件として道路の新設擴張を希望し陳情或は請願書を受付けたものも多數に上つてゐるが之等の希望を悉く容れ施工せんとするには相當鉅額の工事費を要する事としてとりあへず其の内の數線を選擧すべく詮衡を急いで居る。隨つて市の財源關係上等希望道路線が何の程度まで改修されるやはまだ判明しないけれども、市

としては近く道路網も決定されんとする折柄であるから、同計劃地域内に該當すべき方面の道路に對しては成るべく多く改修して置く必要があるので豫算の許す限りは經營を此の方面に振り向ける方針で同方面からの寄附申出の大部分は之を採納し、市民の道路に對する自覺を尊重して其の希望を達せしめようとして居る。

豊橋東田附近道路改修陳情書

豊橋市東田町道路は十五年度事業として曩に旭町餅指から東田町大蓮寺前を経て市立商業學校に至る間は大體に於て工事竣工し、幅員四間半の大通りが出来て同所邊一帶の面目を一新したが、更に市の土木課では市立商業學校前から同線を延長して二連木の郷中を横斷し俗稱茶畑まで工を進めるべく、目下その準備を急いでゐるが、更に

尙其の線を受けて大體に多米街道に併行してセミ川を開鑿して欲しいと地元の希望が盛んで此の程右の用地全部を關係者に於いて無償提供するから是非工事をやつて欲しいと陳情書を提出して來た。

路幅を廣める一宮市の道路

一宮市では大正十年市制實施以來専ら市道の改築に力を注ぎ、年々妙からぬ道路費を費して居るが、道路を延長するよりも幅員の取擴めに最も重きを置き、從來の町並には四間幅の道路が最大のものであつたが最近の計劃に依つて取擴められたものは公園道の十二間幅を始めとして十間、六間、五間と云ふ様に擴張され、従つて此の新線に添つた町並の家屋も漸次立派な建物と變り殊に新傳馬町以東の新線兩側は二階建ユンクリート洋式建物が兩側一丁並に摒立し

一大偉彩を放つて居る。

今尙道路改築中にあるものは上本町、光明寺線、大門西、天皇町一號線、新傳馬線、稻澤線、井桁線、四ツ谷線等がある。今試みに大正十五年三月調の全市内道路の總面積を掲げると四十六町二反一畝十六歩、府縣道九町二段三畝二十三歩、總延長三十八里七丁三十八間五分、面積合計五十五町四段四畝九歩となつて居る。

惡道路改修陳情

岐阜縣郡上郡上保村から越前穴馬村に通ずる油坂トンネルの四方枠が腐朽し、交通が危険であるのはもとより物質の移入搬出は殆んど杜絶し、同地方住民の生活の脅威さへ受くるに至つてゐるが、この上保村から北濃村、高鷲村に亘る此街道一帶の道路は、先般大白川水力電氣發電所の重量機械

を運搬したため道路の形態さへ備へぬくらゐに根底から破壊されたが、當時會社はたゞま／＼砂利の上置をしたばかりで根底からため、今に至つても險惡な登山道そのまゝ修繕せぬ状態で地方民の困惑一方であるので、地方有志者は近日中に縣當局に右道路の改修方を陳情すると云つてゐる。

北越方面

吳服町の道路延長開鑿

長岡市吳服町表町五丁目日本町四丁目その他同方面各町民は、大正十六年度に於て吳服町米穀取引所前通り道路を西方に延長新設して欲しいと過日來市當局に對して種々運動中であるが、町民の希望は、中島町まで徹底的に全通する様新設されたいことは勿論大に望むところであるけれども、財政

地方通信

上の都合もあることだから決して無理なる要求を爲すものではない、即ち十六年度工事としては高砂屋跡を通過し内川々岸まで五間幅の道路を延長開鑿されたいと云ふのである。この路線に依るときは移轉を要する家屋は高砂屋一軒あるのみで、しかも全然他に移轉しなければならぬと云ふものでなく、家屋の方向を轉換すれば足るもので従つて移轉補償料の如きも比較的少額にすむものと考えらるから中島町との密接なる關係を有する道路なる點から第一段の事業として是非とも實現させ内川にも架橋したいものであると云ふにあつて、市當局に於ても、これが實現に就て畫策中である。

三峽の關門、橋と道路開通

四面山脈に回繞されて信濃川と魚野川との貫流で交通の便には恵まれなかつた新潟

縣北魚沼郡川口村では、百年の往時から魚野川を渡船で連絡する不便を除きたいと架橋の宿望を抱いて居つたが、明治二十七年頃當時の村長眞島覺造氏が熱心に之が實現を唱道して、毎年村の剩餘金を積立て橋梁期成會を起し、眞島村長共々策動したけれども、時恰も日清戰役から北清事變に遭遇したため、機運の到來を見なかつたがその内に三十四年の町村大併合で、舊川口村は舊津山村と合併となつて又もや挫折し、引續いて三十七、八年の戰役や歐洲大戰となり、焦慮して居つた有志の努力も空しく葬りさられた、次で大正十一年の十月頃更に架橋計劃が講究されて釣橋を架設すべく立案された、けれども時代の變遷で木橋の計劃と變り、十三年に至つて時の村長古田島和太郎氏は村會議員諸氏と共に縣補助の申請をなし、一面眞島縣會議員は期成會設立

當時から其實現運動を續け奮闘をなして當局を動かし、縣も亦實際の必要に迫られて居るの急を認め、遂に十四年度に工費半額補助の指令をなすに至り、十四年十二月永年の懸案たる架橋の起工をなすに至つた。爾來數度の出水で作業上の困難と戦つた請負者は多大の犠牲を拂つて完成に努め、客臘竣工式を舉げることになつたのである。橋梁は洪水點から三尺五寸を高められたので、舊道敷との間に高低を生じたので、川口村會は舊郡道小千谷田麥山線及び小千谷川井線の二路線と町村道川口鹽殿線の改築を決議したが、田麥山線は田麥山全村を經過して堀ノ内、町の原、明神等から小出十日町線に接續し、川井線は川井村全部を經過して岩澤方面と連絡し、鹽殿線は西川口の大部分から山邊村の鹽殿、卯の木を經て國道十號線に連絡するものであるから、こ

れ等三路線に依つて四通八達して川口村は交通上の中心地となり、將來に於て鐵道が十日町線と飯山線との連絡が完成すれば、魚沼の關門たるべく、橋の落城開通は新生の川口を増大ならしむる第一階梯と見なすことが出来るから、文化の向上と産業の發展には今後見るべきことが多いと云はればならぬ。橋梁や道路の工事概要は左の如くである。

橋梁の延長百十二間木造土橋、實用巾員十尺、十四年十二月五日起工、總經費四萬六千二百六十二圓、道路は川井線三百九十三間の經費一萬五千五百七十三圓、荒谷線百八十一間の經費七千八百五十六圓、田麥山線九十七間の經費一千五百八十三圓。

近畿方面

高砂町に出來た道路愛護團

一八八

兵庫縣高砂町の在郷軍人會高砂分會、高砂消防組、高砂婦人會、高砂總代會、衛生組合、高砂青年團、兒童會員を一團として今度高砂町道路愛護團が出來た。團の目的は「本團は道路に關する公共心を涵養し常に道路愛護宣傳に努めその維持改善を圖るを以て目的とす」と團則に規定してゐる通りで、山田町長を團長に、山本同助役を副團長に舉げ分團長七名は各團團體長が之に當り、幹事五名は土木委員がこれに當ることになつてゐる。而して全町の道路を、婦人會町總代會は全町内市街道路、消防組は港灣に通ずる道路(寺前筋、本町筋、宮前筋)在郷軍人分會は米田村に通ずる道路、青年團は荒井村に通ずる道路、衛生組合は墓地に通ずる道路と分擔して責任區域を定め、

各分團はそれ／＼出役日を定めて毎月三回道路の維持修繕に當らうと云ふのである。

有馬郡の道路愛護作業

兵庫縣では道路に關する公共心を涵養し道路愛護思想の普及を計るため、毎年道路共進會を開催することになり告諭を發して其の主旨の貫徹を期してゐたが、有馬郡ではこの告諭に接するや各町村共競つて加入し、熱心に作業に努めて居る。殊に高平村大澤村、道場村、本庄村は戸主會、軍人會青年團、婦人會等の活動目覺しく、全く各道路の面目を一新した。それには村内の縣道及町村道全部を、各戸に割當て其擔當區域に夫々標柱を建て、分擔を明にし、又自村に於て小共進會を開き毎月一日、十五日の兩日に之を審査して成績優良者には賞品を授與するといふ風にその獎勵に怠りない。

又小學校でも兒童に對し道路愛護の精神涵養に努力して居り又戸主の差支のある場合は老婆までが出役する程で、村治の上にも共同一致社會奉仕の念が強くなり感激の涙なくしては通れぬ有様である。

大阪府の失業者救済土木事業

大阪府が失業者救済事業として此冬起すべき土木工事は、府土木課の手で實施案が作製された。今回の工事に要する金額は約三十萬圓で右の内約十二萬圓は昨年の救済費の残り、あとの約十八萬圓を今度新に追加支出するものである。この三十萬圓中勞働賃金に充てられる金額は約三分の二の二十萬圓で、之を昨年支給した平均賃金一日一人一圓七十錢で換算すると、この冬府が救済する救済者の延べ人員は約十一萬七千人といふ見當である。今度の工事は神崎川

高濱橋附近の埋立の残りと同川下流三箇所の堤防補修及正蓮寺川の埋立等であると。

九州方面

久留米、鳥栖間道路新設問題

久留米市と佐賀縣鳥栖町とに道路新を設ける問題は、一昨年来兩市町間に協議を進め久留米市では直に之が實行に賛成してゐたが、鳥栖町側の事情により一旦之を延期し、同町では右道路設計調査費の計上を見るに止め、明十六年度に於て更にその實行計劃を建てる豫定となつてゐたが、兩市町にても目下新年度豫算の調査計上期に相當してゐるとで、再び該新設道路問題の擡頭を見久留米市に於ても昨年来の關係上鳥栖町で豫算計上の意向確定すれば此際進んで積極的計劃を進めるやう準備をして居る。